



ディスクモアコンディショナー

FC13460 D RA



FC 13460 RAモアコンディショナーは、従来のモアコンビネーションよりも大幅に高い作業処理量を提供します。最大13.40mの可変幅を持つ本機には技術が結集されており、収穫作業の成績に貢献します。この耐久性の高いマシンは、収穫システムの生産性を向上する一方で、モア作業のコストを削減するように設計されています。頑丈でメンテナンスの必要性が少ないため、メンテナンスコストを最小限に抑えます。ベルトグレーパーが、13.00m以上の刈り取り幅から集草された飼料によって、シングルパスで1本のスワスを形成し、これはフォレンジハーベスターの完全な能力を最大限引き出すために十分な量です！モアは比類ない作業品質を提供します。モアにはオプティディスクエリートカッターバーといった独自の機能や効率性が認められているレバーギアボックスによって動力を得るコンディショナーが組み込まれています。また、これは、例えば伸縮性のあるアクスルが付いている点などで革新的です。土壌の踏み固めを防止する目的のために、特別な運動学が設計されました。良好な荷重分散、軽量化、そして低圧力で膨らませた大型のタイヤによって、湿潤条件であっても土壌構造へのダメージを防ぎます。最後に操作性と装備のレベルは、長い作業日数に向き合うために必要な快適性を提供します。

FC 13460 D RA

卓越したパフォーマンス

FC 13460 RAモアの刈り取り幅は13.40 mで、ほとんどの直装式トリプルコンビネーションの刈り取り幅よりも25-30% 幅広くなっています。本機の卓越したフローによって、ますます広い面積の素早いモア作業ができるようになります。



作業コストを削減するための生産性

大規模な収穫作業中はコストコントロールが必要不可欠であり、FC 13460 RAモアこそが解決策です。

モア作業面積の増加、より少ない資源の投入

1台でより広い面積を刈り取ることで、牽引力、燃料、または労働費を大幅に削減できます。

1回のパスで1本の大きいスワスを形成

FC 13460 RAモアには退避させる事ができる集草装置が付いており、1回のパスで、13.00m以上の幅から収穫された飼料で1本のスワスを形成できます。

これによってレーキを使用するコストを削減し、フォレンジハーベスターの完全な能力を最大限に引き出すために十分な1本のスワスを形成します。

24mの刈り取りの排出、4ローターRAでのレーキ作業

飼料密度が十分で、4ローターの15.00mレーキが存在している場合、当然ながらツールを組み合わせる事は合理的です！片方のベルトを上げた状態で往復刈り取りをすることで、24m以上の刈り取り飼料をおよそ15.00m以上に渡って地面に排出させることができます。



信頼性のあるツールによるメンテナンスコストの削減

FC 13460 RAモアは高いレベルの耐久性要求と低メンテナンスコストを実現します。

- コンポーネントは他に例を見ない耐久性のために設計されたためモア作業ユニットドライブハウジングの寿命が従来のトリプルギヤングモアと比較して伸びています。
- 毎日のメンテナンス作業が必須のものに限られ、グリースニップルの数が減り、カッターバーのメンテナンスの必要がありません。作業品質を向上させてランニングコストを低減するために、マシンには標準装備としてディスクキッドライニングと「トリプル5」ナイフが装備されており、それらの寿命はモアで通常使用されるナイフの寿命を大幅に上回っています。

品質第一のモア作業

モア作業品質は、お客様が期待する一番の要望です。この課題を叶えるために、FC 13460 RAモアにはオプティディスクエリートカッターバーといった、クーンレンジからの好評のコンポーネントが装備されています。

オプティディスクエリートが優れた刈り取り品質を保証

ディスク間の可変間隔によって、高スピードで湿潤条件であっても完璧な刈り取りを保証します。互いに離れるように回るディスクがより近づき(A)、ナイフのオーバーラップのお陰できれいな刈り取りを促進します。互いに集まるように回るディスクの間隔が広がり(B)、フォレージの排出を改善します。

ニーズに合わせた正しいコンディショナー新世代回転スチールフィンガーコンディショナーは、高品質コンディショニング作業を保証します。フィンガーはセレクターレバーギアボックスによって駆動され、コンディショニング作業を飼料のタイプと収穫条件に合わせてます。

飼料の集草

スピード調整式の広いコンベアーが、飼料を約1.80mから3.00m幅のスワスに排出します。広い排出のためにこれらを縮めることができます。

伸縮アクスルの利点

伸縮アクスルは作業中に展開し、3.00mのタイヤ間隔を達成します。これはクリアランスを増加させ、規則的な形状のより幅広いスワスの形成を促進し、均質な乾燥を実現してフォレージハーベスターによるピックアップを改善します。加えて、広い輪距によってUターン中の安定性が向上し、ホイールがトラクターの輪距に転がることを防ぎます。

最適な地形追従

地面圧力が常に調節されるため、FC 13460 RAモアは素晴らしい地形追従品質を提供します。地面にかかる圧力は、ISOBUSコントロールインターフェイスからいつでも調整できます。

地面への圧力を制限



コントロールトラフィックファーミングの時代への突入

FC 13460 RAモアは12.00m輪距のコントロール・トラフィック・ファーミング (CTF) 戦略に完璧に適合します。従って、敷地が合理化され、踏み固められた表面が劇的に減り、飼料生産量が増加するという利点があります。



大型タイヤ
600/50-22.5

タイヤ空気圧が低い
1.5bar



地面への圧力の低下による踏み固めの制限

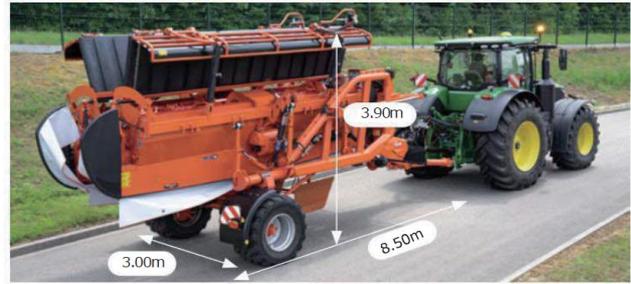
マシン重量が自身のアクスルとトラクターヒッチの間で分配されています。大型で低圧のタイヤが、湿潤条件であっても土壌の踏み固めを防止します。

優れた運転快適性



ISOBUS: 最先端技術の端末

すべてのマシン制御は ISOBUS 端子 (オプションの CCI 端子) にグループ化されています。フロントモアだけでなく、すべての機械機能も簡単に制御できます。すべての設定とインジケータを一目で確認できます。



便利で運転しやすい

FC 13460 RA 芝刈り機は非常にコンパクトな機械であり、道路上や畑に入るときに簡単に運転できます。さらに、2 点ヒッチとそのリアピボットにより、岬や道路での素早い U ターンに優れた操作性が提供されます。

仕様緒元/モデル	FC13460RA
作業幅 (m)	12.40~13.40
オーバーラップ	作業幅 12.40m フロントユニット 3.10mの場合 : 55cm 作業幅 12.40m フロントユニット 3.50mの場合 : 75cm 作業幅 13.40m フロントユニット 3.10mの場合 : 5cm 作業幅 13.40m フロントユニット 3.50mの場合 : 25cm
搬送幅 (m)	3.00
搬送高さ (m)	4.00
集草されたスワス幅 (m)	1.80~3.00
ディスク数	4×6
ナイフアタッチメント	ファーストフィット
コンディショニングスピード (rpm)	780または1,000
タイヤサイズ	600/50-22.5 ラジアル
機体重量 (kg)	8,410
最小必要PTO馬力 (Kw/hp)	190/260
ブレーキシステム	2-way 空気圧ブレーキシステム

交通安全宣言 日本ニューホランドの社員は、交通事故や違反で皆様にご迷惑をおかけしないためにも、社速度を厳守します。また、運転中の携帯電話の使用を控えていただきます。

お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-43-2151
月曜~金曜(祝祭日除く) 9:00~12:00 13:00~17:00

このカタログに使用されている写真は海外仕様のため、日本仕様とは一部異なる場合があります。

下記から日本ニューホランドの最新情報をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube



農作業安全のフポイント(取扱説明書の熟読を)

操作ミスは作業効率を悪くするばかりでなく、事故にもつながりかねません。機体の性能を最大限に発揮させ、安全な作業を行うために、トラクターや作業機に貼付されている安全ラベルや取扱説明書をよく読み、正しい取扱いを心掛けましょう。



日本ニューホランド株式会社

お問い合わせ